

# 経済学部は就職に強い？

# なぜ経済学部志望？



経済学科 4年

中島 まり菜 さん

社会の基盤である経済を学ぶことで世の中のモノやお金の流れを理解したいと思い、経済学部を志望しました。日常生活と深く関わる家計の活動や、それを豊かにする施策を学習できる点も魅力的です。授業では税制や社会保障制度について学び、そのあり方について考えます。特に「年金制度」は自分の将来に深く関係することもあり、非常に興味深いテーマです。まだ将来の自分の姿をイメージできていなくても、幅広い分野を学ぶことができるこの経済学部なら、自分の興味や将来の目標を見つけていることができるはずです。



経済学科 3年

星野 元春 さん

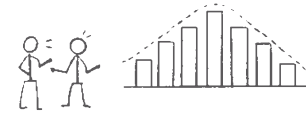
経済学部を志望したのは、高校時代、現代社会を担当する先生が経済学や国際問題などを扱う興味深い授業をしてくださったのがきっかけです。先生が自作した資料で経済学などを学び、テストでは時事問題対策のために自分で調べる必要があったので、自ずと経済に興味を持つ環境に身を置っていました。受験で学部の選択に悩んだときには、将来の自分に何が必要かを改めて考えるのもよいと思います。悩みに悩んで決めた進路であれば、後悔することはそうありません。好きなことを深掘りできるのが大学という場所です。また、はじめから明確な目標があることは素晴らしいですが、そうでなくとも大学には興味の種がたくさん落ちています。焦らずに学生生活を満喫してください。



国際経済学科 4年

杉山 莉来 さん

途上国支援や国際協力に興味があり志望しました。小学生の時に読んだ難民の本や戦争のニュースを見て、世界中の人々の暮らしや生活環境についてより詳しく学び、困っている人の力になりたいと考えたのがきっかけです。国際経済学科にはNGO論や地域経済、開発経済学を学べるゼミナールなどがあり、特に興味があった途上国支援や国際協力についての勉強ができるのも志望するきっかけになりました。現在は開発経済学を専門とするゼミナールに所属しています。世界の貧困・格差、貿易・生産性などの経済問題をミクロ・マクロ双方の視点から分析し、原因や解決方法を考えます。またグループディスカッションやプレゼンテーションを通じて培った知識をアウトプットできる場が設けられているため、論理的思考や意図的明確に伝える力を養うこともできます。



経済学科 3年

半田 悠介 さん

経済学科を志望したのは、日本史の授業で触れた「日本経済の動向」や「時代の変化に対応しながら行われてきた経済政策・社会政策」に興味を持ったからです。そして、入学の決め手となったのは、教職課程を履修することができるという点でした。経済学部の就職における強みは、業種や業界に縛られることなく幅広い業界を選ぶことが可能であるという点です。入学時から自分の特性を理解し、時間をかけて就職活動をすれば自分の力を活かせる企業を選択することが出来ると思います。



NETWORK



国際経済学科 3年

佐藤 慧介 さん

文系の分野の中でも特に将来に活かせる内容が多いと思ったことや「留学する」という目標があったことから、世界を幅広く学習できる国際経済学科を志望しました。1、2年次には必修科目を中心に基礎を固め、3、4年次には興味ある分野をより深めたり、新たに学びたいことを見つけるなど、幅広い選択科目から自分なりの学習計画を立てることができます。ゼミでは開発経済学を研究し、発展途上国の貧困問題や格差問題についてディスカッションをしながら学びます。ゼミでの議論や発表の経験は就職活動にも活かすことができました。また半年間参加した中期留学プログラムでの経験は学生生活の中でも非常に貴重な時間となり、語学だけでなく人としても成長ができたと感じています。



経済学科 4年

内山 歓弥 さん

高校時代「将来何がしたいのか」という明確なビジョンがなく進路に悩みましたが、その頃に参加した地域のボランティア活動がきっかけで「地域活性化」に興味を持ち、地域経済や地場産業について学べる経済学部を志望することに決めました。経済学はよくお金の勉強（財政学）と思われがちですが、それは1つの側面です。実際は現代経済・国際経済・経済の歴史という3つの幹から枝分かれして幅広く学ぶことができます。私は学部で学んだ「中小企業論」をきっかけに専大ベンチャービジネスコンテストに出場したことが就職活動で強みになりました。学部選びで将来の職業が決まるわけではありませんが、やりたいことを仕事にするために「いま興味のある分野」を見つけ、それを学ぶことができる環境を選ぶことが大切だと思います。



経済学科 4年

藤成 陽 さん

自分にとって未知の分野に挑戦したいと思い、これまで触れたことなかった「経済学」を学ぶことにしました。主に地域経済学を学んでいますが、様々な地域の経済・産業の魅力を知るだけでなく、課題を見抜く力や課題解決能力を培うことができるため、公務員などの職種を目指す学生にもおすすめです。



国際経済学科 3年

ミホセイニ・ソフィル さん

高校時代に現代社会と世界史の授業に強い関心を持ったことをきっかけに、大学では国際情勢を詳しく学びたいと考え、国際経済学科を志望しました。経済の動きが世界にどのような影響を与えるかを学ぶことは、とても興味深いです。国際社会で起きた歴史的な出来事とその背景を深く学べる点や、語学力を向上させながら経済を学べる点も国際経済学科の魅力です。英語のみで進行する授業もあり、経験を積むことで苦手だったスピーキングが得意分野になっただけでなく、就職にも役立ちました。



気になるあんなこと、こんなこと、全部まとめて

# 『経済学部生』に聞きました。



NEWS

経済学科 3年

後藤 絢音 さん

少子高齢化・男女格差・地域格差など、生活に深く関わっている諸問題の現状や取り組みについて学ぶことができるのは経済学部であると考え、志望しました。また政府・企業・家計など、経済主体の仕組みへの理解は社会に出てからも必要な知識であると感じたことも理由の1つです。経済学部では経済の仕組みや政策・歴史といった経済活動を理解する基礎的な枠組みだけでなく、環境・労働・福祉などの身近な問題まで幅広く学ぶため、数多くの授業から自分の興味にあったものを選択できるのが魅力的です。日本だけでなく海外の統計や事例についても学ぶことができるため、多角的な視点を身につけることができます。経済が生活と密接に関わっているからこそ、現状を把握して将来の生活をより良くしていくための方法を考えることが大切です。

